

東京都低NO_x・低CO₂小規模燃焼機器認定委員会（令和6年度第3回）議事録

1 日時 令和6年12月19日 午前10時から正午まで

2 場所 WEBによるオンライン会議

3 出席者

（委員）津江委員長、上道委員、小林委員、納富委員

（東京都）名取課長、足立課長代理、藤島主任

4 議題

- （1）低NO_x・低CO₂小規模燃焼機器認定申請の状況
- （2）低NO_x・低CO₂小規模燃焼機器の認定審査

5 議事

○足立課長代理 では、皆様おそろいになりました。定刻になりましたので、ただいまから令和6年度第3回東京都低NO_x・低CO₂小規模燃焼機器認定委員会を始めさせていただきます。

議事進行について、委員長に引き継ぐまでの間、本会議の進行を務めます、私、東京都環境局環境改善部大気保全課大気担当の足立でございます。

本日、松村委員は、ご都合により欠席なさるとのご連絡をいただいております。ほか4名の委員の方、皆様ご出席ということで報告いたします。

さて、議事に入る前に、本日の会議についてご説明させていただきます。この会議は、低NO_x・低CO₂小規模燃焼機器認定委員会の組織及び運営に関する要領第7の規定に基づきまして公開いたします。ただし、議事（2）の低NO_x・低CO₂小規模燃焼機器の認定審査については、東京都情報公開条例第7条第3号に係る案件となりますので、非公開といたします。本日傍聴の方はいらっしゃいません。また、同要領第8の規定に基づき議事録を作成し、東京都情報公開条例第7条各号に掲げる非開示情報に該当する部分を除き、原則として公開しますので、お含みおきください。

開会に当たりまして、東京都環境局環境改善部大気保全課長の名取より一言ご挨拶させていただきます。

○名取課長 委員の皆様、おはようございます。本日はお忙しい中お集まりいただきまして、誠にありがとうございます。会議の開会に当たりまして、一言ご挨拶申し上げます。

本年も残り10日ほどとなりまして、年の瀬のお忙しいところ、委員の皆様、ご出席いただきまして誠にありがとうございます。

さて、前回、第2回でもご紹介させていただきましたけれども、東京都では、未来の東京戦略という戦略を持っておりまして、2030年に向けた施策の目標の一つとして、大気環境のさらなる向上というのを掲げております。令和5年度の大気環境の状況ですけれども、ほとんどの大気汚染物質については、全ての測定局で環境基準を達成したところなんですけれども、一方で光化学オキシダント、これについては全ての測定局で達成できないという状況が継続しております。未来の東京戦略で定めた目標についても達成できていない状況というふうになっています。本年の夏もすごく暑い猛暑だったところでございますけれども、光化学スモッグ注意報、発令日数が、昨年度4日だったところが、今年は15日というふうになりました、2015年以来の2桁注意報ということでかなり増加したという状況にあります。こういうこともあります、東京都では、施策目標の達成に向けて、光化学オキシダントの原因物質の排出削減等に取り組んでいくということとしておりまして、そのためにも本制度を着実に運用して、環境精度の高い機器の開発や導入を促進していきたいというふうに考えております。委員の皆様のご協力をいただけましたら幸いです。

さて、本日の認定委員会では、温水発生機1型式とガスヒートポンプ1型式の認定審査を予定しております。委員の皆様には忌憚のないご意見、ご議論をいただきますようお願いしまして、私のご挨拶とさせていただきます。本日もどうぞよろしくお願ひいたします。

○足立課長代理 続いて、ウェブ会議の注意事項を3点申し上げます。1つ目、資料は情報セキュリティ対策のため、画面には映写できません。別途郵送させていただいておりますので、そちらをご確認ください。2つ目、会議中は音声をミュートにしていただきまして、ご発言の際はミュートを解除してご発言ください。3点目、会議中に音声が聞こえづらいなど不具合がございましたら、随時事務局までお知らせください。

説明は以上でございます。

それでは、これ以後の進行は津江委員長にお願いしたいと思います。委員長、よろしくお願ひいたします。

○津江委員長 おはようございます。本日も年末のお忙しいところ、お集まりいただきましてありがとうございます。

それでは、早速議事のほうに入らせていただきます。

議事（1）の低NO_x・低CO₂小規模燃焼機器の認定申請状況につきまして、事務局のほうからご説明をお願いいたします。

○足立課長代理 では、説明させていただきます。

お手元の資料1をご覧ください。共有させていただきます。ご覧になれますでしょうか。

今回の申請は、小型ボイラー類から1機種、内燃機器類から1機種、それぞれ代表型式2機種の申請をいただいております。

まず、小型ボイラー類でございますけれども、温水発生機としまして、燃料として水素以外のガスを燃料とした機器で1機種いただいております。

もう一方、内燃機器類としましては、ガスヒートポンプから1機種申請をいただいております。

その内訳でございますけれども、まず、温水発生機については、代表型式としましてグレードAAに相当するものを1機種いただいております。内燃機器類については、ガスヒートポンプとしてグレードAに相当するものとして申請をいただいております。

次のページをご覧ください。それぞれの申請機種の窒素酸化物のNO_x削減方式について説明いたします。

まず、温水発生機でございますけれども、完全予混合と希薄燃焼によって低NO_xを実行しているというような形で申請いただいております。

もう一機種、ガスヒートポンプについては、希薄燃焼と点火時期遅角という形で低NO_xを実現したということで申請をいただいております。

続きまして、3ページ目をご覧ください。CO₂の低減方式についてご説明いたします。

温水発生機については、電熱効率の向上という形で低CO₂を実現するという形で申請いただいております。一方、ガスヒートポンプについては、コンプレッサー台数の制御という形で低CO₂を実現するという形で申請いただいております。

以上、それぞれ温水発生機、ガスヒートポンプで1機種ずつ申請いただいている内容についてご説明いたしました。

○津江委員長 どうもありがとうございます。

特にお気づきの点などございませんでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、次の議事に入らせていただきたいと思いますが、議事（2）の低NO_x・低CO₂小規模燃焼機器の認定審査については、非公開というふうにさせていただきたいと思います。

（認定審査のため、非公開）

○津江委員長 それでは、本日の議事は以上となりますので、事務局のほうに議事進行をお返しいたします。よろしくお願ひします。

○足立課長代理 ありがとうございました。

では、事務局からの連絡事項を藤島よりご説明いたします。

○藤島主任 私から連絡事項2点ございます。

まず1点目です。こちら毎回のお知らせになりますが、郵送いたしました口座振替依頼書及びCD-ROM、今回の認定委員会の資料一式につきましては、同封しておりますレターパックのほうでご返送をお願いいたします。

続きまして2点目です。第4回認定委員会の日程調整についてでございます。先日、こちらの委員会のURLを送付したメールのほうに添付させていただいております17日のメールの中に第4回委員会日程調整表を添付しております。年末のお忙しい時期ではございますけれども、今年中にご回答いただけると幸いでございますので、どうぞご協力よろしくお願ひいたします。

連絡事項、以上でございます。

○足立課長代理 では、こちらをもちまして令和6年度第3回認定委員会を終了させていただきます。

本日はお忙しい中、ご出席いただきましてありがとうございました。